

書評

《看護管理まなびラボ BOOKS》
**看護師・医師を育てる
 経験学習支援**
 認知的徒弟制による
 6 ステップアプローチ



- 著 松尾睦，築部卓郎
- 定価 2750 円（本体 2500 円＋税 10%）
- 判型 A5
- 頁数 136
- 発行 医学書院

評者

国立保健医療科学院 主任研究官
 保田江美

「自分で考える力」を育てたいと思う 全ての看護師・医師の必読書

「自分で考える力」は 6 ステップの指導で育成を

「なぜ自分で考えることができないのか」「指示待ち人間が多い」などのお声を現場の看護師から聞くことが多い。これは若者世代に限ったことではない。看護部長や看護師長，副看護部長を対象に評者が行ったセミナーでは，「看護師長や副看護部長には，自ら考える力をもっとつけてほしい」といった困り事を吐露する管理者が多かった。

本書は，新人から管理者まであらゆる層の看護師の「自分で考える力」をどう育てるかという疑問に，「認知的徒弟制」という理論に基づいた具体的な方法をもって答えてくれる。

本書では，6つのステップの指導で「自分で考える力」が育成できることを示している。この指導プロセスのベースになっているのが，状況的学習論をベースとする認知的徒弟制である。認知的徒弟制とは，患者のアセスメントや後輩・部下の指導，他職種との連携やその調整，チームマネジメントなどの「高度な認知能力を必要とする仕事の進め方を，経験者が非経験者に指導する方法」(p.6)である。

認知的徒弟制による6つの指導プロセスとは，①モデル提示，②観察と助言，③足場づくり，④言語化サポート，⑤内省サポート，⑥挑戦サポートである。これら6つのステップを時には行き来しながらサポートすることで，私たちが難渋する「自分で考える力」を育てることが可能になるという。

教育における指導者世代と 若手世代とのギャップ

本書は，ただ方法論を提示しているだけではない。認知的徒弟制に基づく指導を測定し，看護師や医師を対象としてその効果や特徴を検証し，読者に分かりやすく提示していることが本書の特徴の1つである。評者が特に興味深いと感じたのは，「若手ほどしっかりと（認知的徒弟制による）指導を受けている」(p.39)という調査結果である。

評者は，「背中を見て育て」という時代から，「丁寧に指導して育てる」という時代に看護界全体がシフトしていったさなかに臨床現場にいた。「自分は前者の育て方をされたのに，育てる側になったら後者の育て方を求められて大変である」という思いを抱えるベテラン看護師や看護管理者は多いのではないだろうか。試行錯誤しながら，自分の被教育経験とは異なる方法を模索し続けた努力の結果が，このデータに表れているように感じ，とてもうれしくなった。

豊富な具体例を基に， 明日から認知的徒弟制を試せる

本書のもう1つの特徴が，豊富な事例の提示と具体的な研修方法の提示であろう。認知的徒弟制を臨床現場の感覚で理解でき，定着のために明日からやってみようと思える方法まで丁寧に示されている。

本書は，理論的基盤・実証データ・豊富な事例の提示が見事なバランスで展開されており，これからの看護師・医師の教育の基盤となり得るものだ。